

栗塚文庫洋書目録 凡例

1. 本目録は、越前市中央図書館が所蔵する栗塚文庫（栗塚省吾の旧蔵書）のうち、洋書計 376 冊の書誌情報を一覧にしたものである。
2. 目録の配列は、栗塚文庫の旧登録番号順である。そのため、複数巻にわたる文献が離れて記載されていることがある。複数巻にわたる文献については、備考欄に「○巻本」と注記した。
3. 目録の記載事項および記載方法は、以下のとおりである。
 - I. No. …本目録の通し番号。
 - II. 栗塚文庫旧登録番号…旧武生町立図書館および旧武生市立図書館で栗塚文庫を受入・登録した際に付けた登録番号。
 - III. 解題番号…解題を行った資料にのみ付けた番号。（ ）数字で表記した。
 - IV. 書名（表記）…基本的に、全国の大学図書館等が所蔵する図書および雑誌の情報を検索できるサイト「CiNii Books」(<http://ci.nii.ac.jp/books/?l=ja>)の表記法にしたがっている。また、書名に巻号も含め書名の末尾に「vol. ○」と表記した。ただし、雑誌などの逐次刊行物については、巻号の後に続けて号数を「no. ○」と表記した。例) 1号1巻 → vol. 1, no. 1
 - V. 巻号…巻号を示す数字。雑誌などの逐次刊行物については、巻数の後に続けて（ ）書きで号数を表記する。例) 1号1巻 → 1 (1)
 - VI. 著者名…著者名は、調査の及ぶかぎり、ミドルネームを含めたフルネームを姓、名の順で記載している。ただし、M. (Monsieur の略) や L'abbé (神父) といった敬称はすべて省略した。したがって、実際の文献の表紙の表記とは異なることがある。例) M. Frédéric Mourlon → Mourlon, Claude Étienne Frédéric また、著者が日本人の場合は、原文表記の後に続けて（ ）書きで日本語表記した。
 - VII. 刊記（出版年）…西暦を記載した。また、資料内容から推定した年は[]で表記した。
 - VIII. 出版社…出版地および出版社名をコンマで区切って記載した。
 - IX. 大きさ…資料の縦長についてセンチメートルを単位として表記した。ただし、横長本や地図など変形資料については「縦×横」で表記した。
 - X. 頁数…頁数は、印刷された最終数を記載した。ただし、頁付が2種以上に分かれた資料は、各頁付ごとにコンマで区切って記載した。また、地図など1枚ものの資料は、「一紙」と表記した。
 - XI. 備考…備考欄では、検索サイト「CiNii Books」を用いて全国の大学図書館等での所蔵の有無を調査した結果、特に希少性があると思われる文献について特記した。「所蔵大学図書館なし」は、検索サイト「CiNii Books」の検索結果が0件だった文献、「○○図書館所蔵」は、検索結果が1件のみの文献である。これらの文献は本目録のなかでもとりわけ希少性の高いものである。また、「他年刊／○○年刊…複数機関所蔵／○○図書館所蔵」は、栗塚文庫所蔵のものとは出版年が異なる同一文献についての所蔵情報を記載した。
4. 目録の表記は、原則として原文表記にしたがい、数字はアラビア数字で表記した。
5. 本目録には、著者別索引・解題が付くほか、明治大学法学部教授・村上一博氏が著した『パリ大学留学時代の栗塚省吾』を別途掲載した。